2025年度／2024年度事業案内

川崎いのちの電話

自殺を考える人たちの支えであり続けたい

さまざまなご縁に導かれ、この度６月より金子圭賢理事長の後を継がせていただくこととなりました張賢徳です。長年、川崎市にある帝京大学溝口病院で精神科教授職を務め、現在は国立精神神経医療研究センター精神保健研究所の所長として人々のメンタルヘルスの増進と精神科医療の向上について考える任に当たっています。また、自殺予防を自分のライフワークと考え、日本自殺予防学会の活動にも長年参画してきました。

川崎いのちの電話は、初代理事長の近藤俊朗先生の多大なるご尽力により 1986 年 12 月に開局して以来、現在までその活動の火は灯り続けています。近藤先生は 2013 年２月に惜しまれながらも旅立たれましたが、「自殺で亡くなる人を一人でも減らしたい」というご遺志を引き継がれた金子圭賢第二代理事長によって守り抜かれてきました。その長い歴史と伝統の重みをひしひしと感じながら、この重責を担う覚悟を決めました。微力ではありますが一生懸命努める所存ですので、皆様のご指導とご支援を心よりお願い申し上げます。

2020 年から始まったコロナ禍によって本邦の自殺者数は増加に転じました。昨年度は全体の自殺者数は減りました。しかし、なお２万人以上の人が自殺で亡くなっています。自殺率は人口 10 万人当たり 16.4 で、国際的には高自殺率国にランクされる状態が続いています。さらに、子ども・若者の自殺者数は高止まりしています。自殺が多い社会は良い社会とは言えません。何が問題なのか、皆で考えねばなりません。同時に、苦境にある人たちへの支援も実践されねばなりません。いのちの電話は、自殺を考えるほど苦しんでいる人たちの支えであり続けたいと思います。皆様のご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

社会福祉法人　川崎いのちの電話

理事長　張　賢徳

2025年度事業（活動）計画

１．川崎いのちの電話は2025年12月で開局39年を迎えます。2024年までに約70万件の電話を受けてきました。社会情勢が変わっていく中で、相談内容も変わっています。経済的・精神的・先行きの不安が増えています。
２．そのために、相談員は研修を重ね、“24時間365日”休むことのない相談電話を堅持します。
３．みなさんからの寄付、チャリティーイベント（落語会とコンサート）の収益、川崎市からの補助金と神奈川県からの助成金が活動の支えとなっています。絶えず新たな収益源を探しています。

〇話を聴くことの研修をより強化する。相談員のグループごとの研修を毎月、相談員全員を対象にした全体研修を９月に実施する。
〇研修を担う人材の育成と指導力を磨く。
〇市民サークルや学校・企業・団体が行う自殺予防や傾聴などの講座に、講師を派遣する。
〇市民への感謝と活動資金を得るためにチャリティーイベントを実施する。実力・人気のある柳家三三独演会を６月１日に実施。人気上昇中の鈴々舎美馬（みーま）、今年芸術選奨新人賞を受賞した俗曲の桂小すみが出演。昨年大勢の観客を集めたバイオリンの石田泰尚らトリオ・リベルタのコンサートを12月26日に開催。
〇自死遺族ほっとラインを、毎月第２・第４木曜日12時から16時まで実施。専用電話：044－966－9951
〇川崎市と共催で「こころの健康セミナー」９月28日に開催。

2024年度事業報告

〇評議員会

第１回評議員会

●2024年６月12日開催。評議員10名のうち８名が出席。議長に堂本典子評議員を選任。金子圭賢理事長と有田茂業務執行理事・事務局長が陪席。

●議案①2023年度事業報告②2023年度収支決算。２件について全員一致で可決された。

第２回評議員会

●2025年３月28日開催。評議員10名のうち８名が出席。議長に松原成文評議員を選任。金子圭賢理事長と有田茂業務執行理事・事務局長が陪席。

●議案①2025年度事業計画②2025年度予算③経理規程の一部改定。３件について全員一致で可決された。

〇理事会

第１回理事会

●2024年５月27日開催。理事７名と顧問１名、参与１名が出席。

●議案①2023年度事業報告案②2023年度収支決算案③評議員会招集通知。３件について出席理事全員が賛成し可決。

第２回理事会

●2025年３月12日開催。理事７名と監事１名が出席。

●議案①2025年度事業計画案②2025年度収支予算案③経理規程の一部改定④新評議員候補⑤評議員選任・解任委員会委員の委嘱案。５件について出席理事全員が賛成し可決。

〇運営会議

２カ月に１回・奇数月に開催。理事長、研修担当者会、相談員委員会、事業推進委員会（企画部、広報部、製作部）、財務委員会、インターネット相談委員会の代表、事務局長で構成。全体に関わる問題・課題のほか、各部門の活動報告、活動予定を受けて、連絡、調整を図る。

〇相談員委員会

毎月１回開催。相談員で構成する15の継続研修グループの代表で電話相談活動の問題・課題を話し合う。

〇研修担当者会

初期研修部会、継続研修部会、担当者研修部会の３つの部と読取ワーキンググループ、特別研修委員会で構成。相談ボランティア応募者の研修、相談員の継続研修、相談員のリフレッシュ研修、スキルアップ研修、外部研修に講師派遣などを行う。

●市民を対象に相談員募集の第１歩ともなる公開講座を行った。第１回2025年１月30日「大切な人を自殺から守るために」講師：張賢徳（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所所長）。第２回2025年２月６日「聴く力～人をいやすもの」講師：渡邊啓二（心と生活の相談室シャローム室長）。第３回2025年２月12日「今、求められている心のケアとは」講師：桑山紀彦（海老名こころのクリニック院長）。受講者はのべ112名。

●認定後３年程度の相談員を対象に、自己の聴き方を振り返り基本の大切さを再認識するため、スキルアップ研修を行った。2024年８月25日、９月７日。８名が参加。

●講師の派遣。川崎市社会福祉協議会「ゲートキーパー講座」、2024年６月20日

〇財務委員会

活動資金として不可欠な寄付金の増額策を検討し、実行に移している。川崎いのちの電話の設立には川崎市のライオンズクラブが大きく関わっており、寄付についてもライオンズクラブのウエイトが高くなっている。一方で、ライオンズクラブ以外の寄付を増やす方策を委員会で検討している。

●寄付依頼チラシ「あなたのご支援が誰かの生きる力になります」を改訂。

●「第45回川崎市民まつり」（2024年12月７、８日開催）に出店し、活動周知の資料を650名に配布。

〇企画部

トリオ・リベルタコンサートを2024年10月５日エポックなかはらで開催。収益は川崎いのちの電話の活動費として活用。

〇広報部

広報誌「川崎いのちの電話」を年３回発行（延べ12,600部）。111号（2024年７月１日発行）寄稿「相談員になって今、思うこと」。112号（2024年11月１日発行）特集「弱さを認めない社会と生きにくさ～アルコール依存症の父の自殺から、見えてくるもの～」引土絵未（日本女子大学人間社会学部社会福祉学科専任講師）。113号（2025年３月１日発行）特集「薬物依存症の人と共に～回復への道は自分と向き合うこと～」岡崎重人（川崎ダルク支援会理事長）。

〇製作部、新ゆり製作部

チャリティーコンサートや落語会のほか外部の催し物で手作り品を販売。収益は川崎いのちの電話の活動費として活用。

〇ネット相談委員会

合計137件の相談に応じた。20代～50代の相談が多い。相談者の気持ちに応える返信技量の向上を図っている。

〇自死遺族ほっとライン

2009年９月に川崎市が自死遺族ほっとラインを設置。2012年４月から川崎いのちの電話が業務を委託された。毎月第２・４木曜日、12時から16時まで。2025年２月22日に川崎市と共催で研修会を実施。「自死遺族の立場から」講師：明英彦（一般社団法人全国自死遺族連絡会）。

〇こころの健康セミナー

2010年度から川崎市との共催で開始。自殺やメンタルヘルスなどに関連した知識の普及や市民の理解促進が目的。2024年８月９日「災害とメンタルヘルス～現場の経験から学ぶこと～」をテーマに第１部講演「能登半島地震の現場からみるメン

タルヘルス」講師：北村立（石川県立こころの病院院長）、第２部シンポジストに北村立に加え、柿沼矩子（川崎市認知症ネットワーク代表）、岡崎重人（NPO法人川崎ダルク支援会理事長）、田中美砂子（中部地域生活支援センターはるかぜ）、濟田由夏（同）をむかえ、「災害に備える」をテーマに話し合った。

〇実働相談員の推移（2020年度～2024年度）

年度	2020	2021	2022	2023	2024
人数	117	110	124	125	131

2024年川崎いのちの電話の相談件数・全国の自殺の状況

１．2024年の相談電話件数は１万2794件

2024年（１～12月）の相談電話件数は１万2794件で、前年比３件増となった。１日当たりの平均相談件数は35.1件。

掛け手の性別による受信件数と自殺志向率は右の表のとおり。

内容別では、「人生（生き方、孤独、コロナ禍など）」が最多で2995件（23.1％）、次いで「家族」1929件が（15.1％）、「精神（こころの病気など）」が1864件（14.6％）となっている。

自殺志向のある相談の割合は全体の7.6％（前年比1.0㌽減）。男性が6.4％（同1.3㌽減）、女性が8.6％（同0.7㌽減）で、女性は横ばい、男性はやや減っている。性別が「その他」の掛け手は受信数が全体の１％未満（本年の実数104件）なので傾向が不安定だが、自殺志向率は5.8％だった（前年比11.0㌽減）。

年代・性別の自殺志向は、20代女性が16.9％と最も高く、次いで30代女性が13.7％、10代以下女性が12.0％（年代不明及び性別その他を除く）。性別が「その他」は受信件数が少ないため比較から除いた。

内容別の自殺志向は高い順に、「精神」が13.7％、「経済」が12.8％、「人生」が10.3％だった。

年間総受信数と自殺志向率

区分	受信件数	自殺志向率
男性	5,923	6.4%
女性	6,767	8.6%
その他	104	5.8%
計	12,794	7.6%

相談件数の多い内容

区分		件数
1	人生	2,995
2	家族	1,929
3	精神	1,864

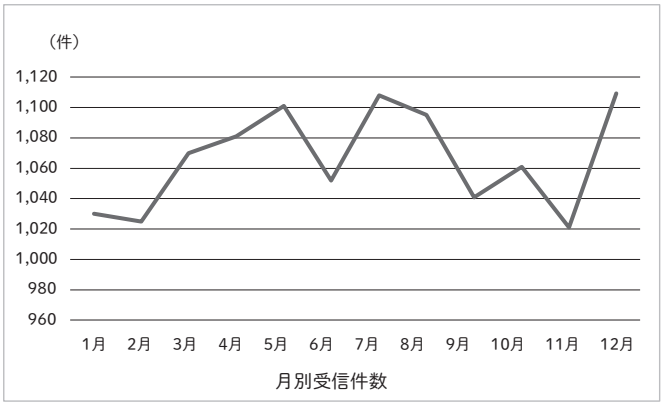
自殺志向の高い年代性別

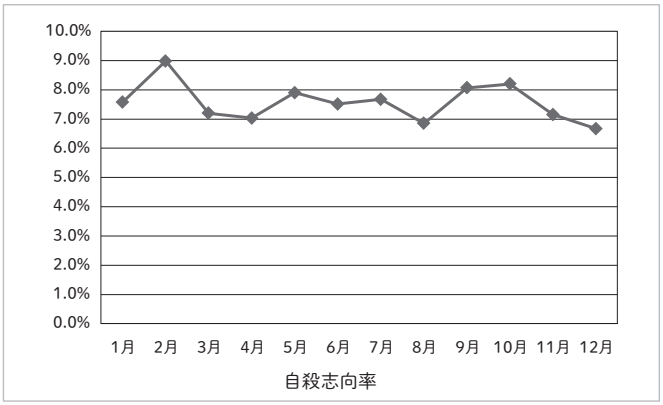
区分		自殺志向率
1	20 代女性	16.9%
2	30 代女性	13.7%
3	10 代以下女性	12.0%

２．月別受信件数と自殺志向の推移

月別受信件数は１年を通して大きな変動はない。

月別自殺志向率では、２月がやや高い。この傾向は2020年、2023年にも認められる。

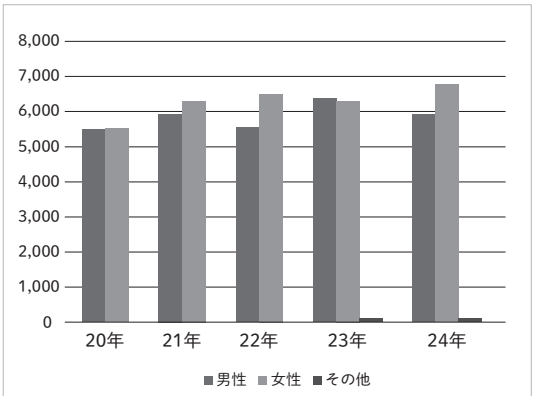




３．男女別相談数と自殺志向の推移

掛け手の男女別の比率は、男性46.3％、女性52.9％で、女性がやや多かった。その他の割合は0.8％だった。自殺志向率で女性が男性より高い傾向は以前からほぼ一貫している。男性は2021年からほぼ横ばい、女性は2020年から３年間10％を超えていたが、2023年は9.3％に減り、2024年も8.6％で漸減している。受信数が「その他」の自殺志向率は昨年に比べて大きく減っているが、受信数が少ないので変動が大きいと思われる。

		20年	21年	22年	23年	24年
全国	男性	261,093	255,638	264,847	273,451	276,357
	女性	259,661	270,643	279,368	281,568	297,039
	その他				2,933	3,111
	計	520,754	526,281	544,215	557,952	576,507
		20年	21年	22年	23年	24年
川崎	男性	5,478	5,932	5,540	6,378	5,923
	女性	5,524	6,296	6,497	6,300	6,767
	その他				113	104
	計	11,002	12,228	12,037	12,791	12,794
	自殺志向率 男性	6.7%	7.9%	7.6%	7.7%	6.4%
	自殺志向率 女性	10.1%	10.1%	10.6%	9.3%	8.6%
	自殺志向率 その他				16.8%	5.8%
	自殺志向率 計	8.4%	9.0%	9.2%	8.6%	7.6%

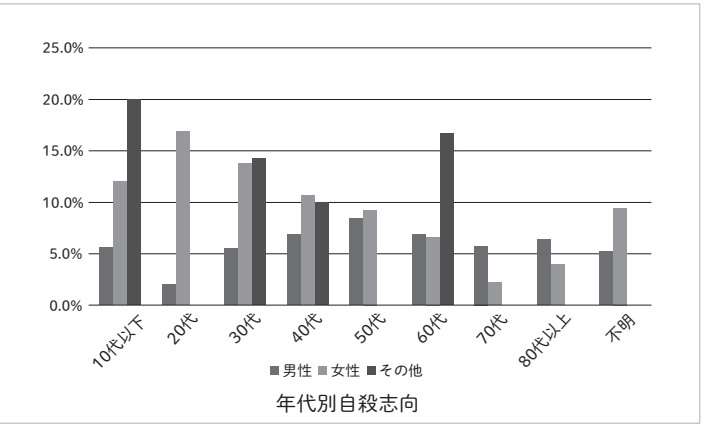


男女別相談数の推移（2020～2024年）

4．年代別相談数と自殺志向

全体で、相談数は50代が最多で60代、40代がほぼ同数でそれに続く。自殺志向率は30代から50代がほぼ同率で高い。

性別の自殺志向率は、男性では50代が高く、40代と60代がそれに続く。女性では、20代が高く、30代と10代以下がそれに続く。なお、女性で年齢が「不明」とされた掛け手の自殺志向率が比較的高い。その他では、10代以下が一番高く、60代、30代がそれに続く。ただし、ここでも「その他」は順位の変動が大きい。

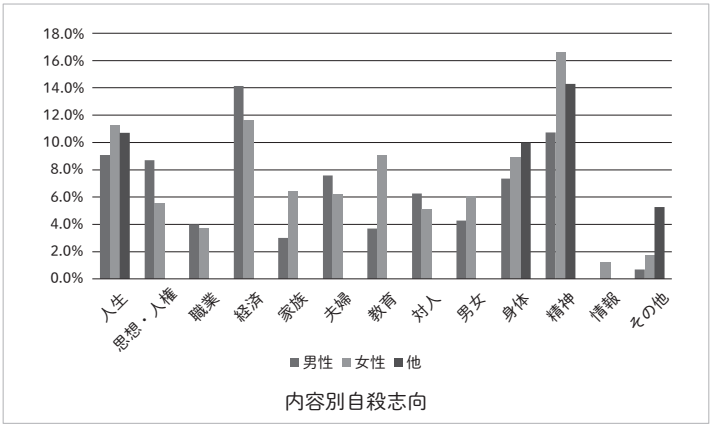


年代別自殺志向

5．内容別相談数と自殺志向

相談件数の最多は「人生」で「家族」と「精神」がそれに続く傾向は昨年と同じである。

自殺志向の割合で最も高いのは「精神」、次いで「経済」、「人生」。



内容別自殺志向

6．全国の自殺２万320人。男性は横ばい。小中高生が529人で高止まりが続く。

2024年の全国の自殺者は2万320人（前年比1517人（6.9%）減）で漸減である。男女別では、男性が１万3801人（同1061人減）で漸減に転じ、女性は6519人（同456人減）で昨年から漸減が続いている。男性の自殺者数は女性の約2.1倍で、2020年以降この比率は概ね２倍である。

年代別では、50代が3799人（18.7%）で最も多く、次いで40代3214人（15.8%）、70代2685人（13.2%）の順（順位は昨年と同じ）。ほとんど全ての性別・年代で自殺者数は減少していおり、減少率が最も大きいのは40代で11.3%、次いで50代の9.4%である。総数に占める割合は2.1%であるが、19歳以下の女性のみ13.5%増加している。

なお、自殺死亡率（人口10万人当たりの自殺者数）では、過去10年間50代が一番高い。80代は2020年まで二番目の高さだったが、その後は三番目以下になっている。19歳以下を除き、20代は2019年まで一貫して最少だったところ、その後は４番目以上の多さになっている。

■川崎市は213人

川崎市は213人で前年と同数である。男女別では男性128人、女性85人。男性は女性の1.5倍で昨年より差は縮まっている。自殺死亡率は13.93。

川崎市自殺者数推移　（単位：人。自殺死亡率は単位なし）

区分	20年	21年	22年	23年	24年
男性	133	106	133	149	128
女性	65	63	74	64	85
計	198	169	207	213	213
自殺死亡率	12.86	10.97	13.43	13.98	13.93

（厚生労働省、川崎市データによる）

法人役員

＜役員＞

2025年7月現在

評議員

市川　功一　　渡辺　恭子
松原　成文　　渡邊　直美
北條　秀衛　　石田　真一
西村恭仁子　　塙　まゆみ
堂本　典子　　鈴木　　剛

理事長

張　　賢徳

理事

井田　光政　　山本　直正
鈴木　　清　　松久　順子
深瀬　正子
藤　真知子（業務執行理事 事務局長）

監事

増山　雅久　　山田　眞三

顧問

金子　圭賢　　安達　成功

参与

有田　　茂　　廣川　聖子

2024年度決算

貸借対照表

2025 年 3 月 31 日現在

単位：円

資産の部	
科　目	金　額
流動資産	**29,253,432**
現金預金	28,826,201
事業未収金	332,856
前払費用	94,375
固定資産	**108,070,923**
基本財産	100,000,000
土地	22,000,000
基本財産特定預金	20,000,000
建物	58,000,000
減価償却累計額（建物）	△ 14,210,000
減価償却積立預金	14,210,000
その他固定資産	8,070,923
資産の部合計	**137,324,355**

負債の部	
科　目	金　額
流動負債	**100,574**
事業未払金	2,520
預り金	98,054
負債の部合計	**100,574**

純資産の部	
科　目	金　額
基本金	100,000,000
国庫補助金等特別積立金	29,818,892
その他積立金	0
次期繰越活動増減差額	7,404,889
（うち当期活動増減差額）	△ 102,409
純資産の部合計	**137,223,781**

負債及び純資産の部合計	**137,324,355**

資金収支計算書

自 2024 年 4 月 1 日　至 2025 年 3 月 31 日

単位：円

	科　目		決　算
事業活動による収支	収　入	相談事業収入	10,026,700
		経常経費寄附金収入	6,058,260
		事業推進部収入	3,008,419
		受取利息配当金収入	10,030
		その他の収入	0
	事業活動収入計（1）		19,103,409
	支　出	人件費支出	8,064,586
		事業費支出	5,679,070
		事務費支出	3,812,231
	事業活動支出計（2）		17,555,887
	事業活動資金収支差額（3）＝（1）-（2）		**1,547,522**
施設整備等による収支	収入計（4）	施設整備等補助金収入	0
	支出計（5）	固定資産取得支出	0
	施設整備等資金収支差額（6）＝（4）-（5）		**0**
その他の活動による収支	収入計（7）	ー	0
	支出計（8）	減価償却積立預金積立支出	1,160,000
	その他の活動資金収支差額（9）＝（7）-（8）		**△ 1,160,000**
予備費支出（10）			**ー**
当期資金収支差額合計（11）＝（3）＋（6）＋（9）-（10）			**387,522**
前期末支払資金残高（12）			**28,765,336**
当期末支払資金残高（11）＋（12）			**29,152,858**

事業活動計算書

自 2024 年 4 月 1 日　至 2025 年 3 月 31 日

単位：円

収益の部	
科　目	金　額
相談事業	**10,026,700**
育成事業	780,500
受託事業	2,226,600
その他事業	7,019,600
川崎市補助金	5,189,600
神奈川県助成金	1,350,000
共同募金配分金	480,000
経常経費寄付金	6,058,260
経常経費寄付金	3,400,260
会員会費	2,658,000
賛助会費	2,338,000
維持会費	320,000
事業推進部	3,008,419
企画部	2,609,079
製作部	399,340
収益合計（1）	**19,093,379**

費用の部	
科　目	金　額
人件費	**8,064,586**
事業費	**5,679,070**
企画部費	1,016,009
製作部費	196,384
委員会費	552,431
広報費	729,080
受託事業費	613,345
教育指導費	2,094,094
その他	477,727
事務費	**3,812,231**
旅費交通費	118,750
事務消耗品	220,899
印刷製本費	254,445
水道光熱費	628,244
通信運搬費	694,024
業務委託費	660,000
手数料	481,890
その他	753,979
減価償却費	**2,393,881**
国庫補助金等特別積立金取崩額	**△ 948,768**
費用合計（2）	**19,001,000**

サービス活動増減差額（1）－（2）	**92,379**

2025年度予算

単位：円

収入の部	
科　目	金　額
相談事業	**10,389,600**
育成事業	1,830,000
受託事業	2,100,000
その他事業	6,459,600
川崎市補助金	5,189,600
神奈川県助成金	850,000
共同募金配分金	420,000
経常経費寄付金	**5,600,000**
経常経費寄付金	2,800,000
会員会費	2,800,000
賛助会費	2,500,000
維持会費	300,000
事業推進部	**3,900,000**
企画部	3,000,000
製作部	900,000
その他	55,000
合計	**19,944,600**

支出の部	
科　目	金　額
人件費	**8,000,000**
事業費	**7,005,000**
企画部	1,746,000
製作部	200,000
委員会費	650,000
広報費	450,000
受託事業費	1,159,000
教育指導費	1,200,000
その他	1,600,000
事務費	**3,717,600**
旅費交通費	70,000
事務消耗品	250,000
印刷製本費	100,000
水道光熱費	600,000
通信運搬費	700,000
業務委託費	660,000
手数料	350,000
その他	987,600
減価償却費	**1,160,000**
施設整備費	**62,000**
合計	**19,944,600**

寄付感謝

2024年度は次の方々、法人・団体の皆さんから温かい寄付をいただきました。感謝してご報告します。

《個人》

大塚ふみ子　佐藤　正明　金子　圭賢　山田美和子　山本　直正　武田　信平　高木　弘美　金井　勉　倉片　孝行
深瀬　正子　安達　成功　白石　弘巳　五十嵐みつこ　菅沼　雪絵　小出　慶一　関　聖一　小林美年子　鈴木　剛
富田美津子　片山世紀雄　酒井　礼子　瀧野　修　村田　紀子　近藤百合江　杉谷　憲一　尾根　恒　籾山　勝雄
宍戸信次郎　粟澤由利子　加藤　紹大　安田　享二　松本　純子　河合　東　鈴木　恵子　桜庭　美木　粟井　清
村上カズコ　棚部　哲男　北條　秀衛　大鋸　甚勇　松岡　信子　坂本　治子　藤嶋とみ子　石原　敏光　吉田　久弘
長掛　栄一　鏑木　昌代　亀ヶ谷　修　米山　信二　齊木　貴　渡邉洋太郎　河合　眞　三國　祥子　今野タネ子
手塚　豊子　加藤トミ子　岩田　良子　長塚いつ子　宮坂　源一　渡瀬　美来　山田　信子　吉村恵美子　笠原　光子
金子　顕　渡邉　新治　平塚　園枝　碓井　俊昭　矢田部光江　佐藤恵美子　船越利江子　堀口　裕介　安藤　健雄
広島　晴美　山本　苑子　佐々木陽子　森瀬　大蔵　川北　和子　伊藤　初美　瀬戸　萌絵　阿部　孝夫　高村　真
早崎　悦子　糸　奈津江　山口　恒太　岡本由利子　山本　剛　松尾　信子　浅田　美子　山田　長満　佐藤美津子
大川　幸男　斉藤加奈子　中島　泰己　宮原　信子　岡田　修二　松島　太郎　藤野　竹子　田中　康夫　高橋　真弓
井田　光政　杉浦　初子　中川　隆　遠山とよ子　立木　郁子　秦　ひろみ　市川　功一　中里　君江　太幡世記子
伊藤　素美　鈴木　早苗　平泉　悠子　島﨑　祥子　本野宗一郎　谷井　弘樹　梶川　明美　高梨　斉　石井　秋雄
高橋　勉　藤　雅文　土志田明子　関口　晴雄　丸島　知子　亀岡　大造　坂尾　宜徳　藤岡　勝　北條　美和
平井　智子　碓井　正之　岩崎　純子　荒川　米市　澤　洋子　佐藤　誠　小松　終子　石原　淳子　漆原　敦子
塩島えり子　中由　光徳　久保美矢子　小林　直人　立川　典子　櫻井　貴裕　伊藤　靖子　千田　智子　匿名希望19名

《法人・団体》

(株)由貴工務店　久津間製粉(株)　(株)アップ総合企画　(株)太平商事
(公法)川崎市医師会　高津区鎮座白髭神社　川崎朋友ライオンズクラブ　(株)アパリエ建築
(株)アドバンストホーム　四葉グローバルクラブ　ケイ・アイ商事(株)　(株)ニッケン石橋
(株)多摩設計　(有)坂本木工所　昭栄塗装(株)　国際ソロプチミスト川崎
サンエイ建設(株)　工藤建設(株)　朝日生命保険(相)　柏木工機(株)
クリニックはまだ　(学)桐光学園　(宗)潮音寺　プライムコーポレーション(株)
東京恩寵教会執事会　(株)イーエム　(一社)川崎市弘済会　山本賀也設計室
(株)喜美代建設　オール川崎ライオンズクラブ連絡協議会　ジェクト(株)　おくせ医院
日本キリスト教団溝ノ口教会　日本キリスト教団川崎教会教会学校　日本キリスト教団元住吉教会教会学校　日本キリスト教団新丸子教会
(社)生命保険協会神奈川県協会　(学)捜真女学校　川崎田島ライオンズクラブ　(株)ティーカラー
日本キリスト教団元住吉教会　カリタス学園同窓会　川崎西ライオンズクラブ　リサイクル募金きしゃぽん
ライオンズクラブ国際協会330-B地区(地区ガバナー/5R-2Z/糖尿病・四献・いのちの電話委員会/年次大会募金箱)
チャリティーイベント募金箱　古本募金箱　募金箱　共同購入

■財政支援にご協力をおねがいします

24時間365日眠らぬ電話相談活動は、資金ボランティアからの会費、寄付により支えられています。相談員の養成、研修のほか、建物の維持管理、人件費、事務費、広報活動に年間約2000万円の資金が必要です。自前での資金確保(チャリティー事業による収益など)に努めているほか、川崎市からの補助金、神奈川県からの助成金など、多くの個人、法人・団体から寄付をいただいています。2018年4月に財政基盤の安定のため、「川崎いのちの電話支援会」が発足しました。どうぞ皆さまのご理解とご支援を心からお願いします。

川崎いのちの電話への寄付は寄付金税額控除など税制上の対象になります。

◇賛助会員　定期的に会費で寄付をいただける個人、法人・団体
(1)個人会員　年額　5万円　3万円　1万円　5千円　3千円
(2)法人・団体会員　年額　10万円　5万円　3万円　1万円
◇寄付　個人、法人・団体ともに金額、回数を定めない場合。相続や遺贈による寄付も控除対象となります。
◇振込先　(1)ゆうちょ銀行からの振り込み(払込取扱票にて)　口座番号:00240−2−36798　加入者名:社会福祉法人　川崎いのちの電話
(2)他銀行からの振り込み　銀 行 名:ゆうちょ銀行　店　名:〇二九(ゼロニキュウ店)　預金科目:当座
口座番号:0036798　加入者名:社会福祉法人　川崎いのちの電話
古本等のリサイクル募金(きしゃぽん)やスマホ・パソコンなどによるクレジットカードでの寄付(Syncable等)もご利用いただけます。詳しくはホームページをご覧ください。
お問い合わせ:川崎いのちの電話事務局(044−722−7121　平日10時〜17時)

「2025年度／2024年度事業案内」を発行しました。
1年間の活動報告と、これから1年間の計画、予算の概要などを紹介しています。

社会福祉法人　川崎いのちの電話
〒211-8690　川崎市中原郵便局私書箱17号
電話　044−722-7121　FAX　044−722-7122
ホームページ　https://kawasaki-inochinodenwa.jp/
発行日　2025年(令和7年)7月　発行人　張　賢徳